

## 県産木材等の利用推進機関の設置について

### 1 いわて県産木材等利用推進協議会について

(1) この協議会は、岩手県県産木材等利用促進条例（以下「条例」という。）第 18 条に定める協力体制に位置付けられ、基本計画の第 3 章に掲げる「県産木材等の利用推進機関」に当たるもので、令和 2 年 7 月 29 日に設置済。

#### (2) 協議会の所掌事項

- ア 基本計画等に基づく県産木材等の利用推進に向けた取組に関すること
- イ 県産木材等の利用の推進に向けた普及啓発に関すること
- ウ その他木材利用推進に必要な事項に関すること

#### (3) 協議会の構成

- ・ 条例第 4 条～第 10 条において役割が明記されている主体（①県、②森林所有者、③林業事業者、④木材産業事業者、⑤建築関係事業者、⑥県民及びその他事業者）
- ・ 条例第 4 条 2 項に定める連携者（①国、②市町村、③大学）
- ・ 事務局を県農林水産部林業振興課に置く。
- ・ 必要に応じて部会を置く。

#### (4) 協議会の構成員（※は計画策定委員会の参画団体）

区分	機関・団体名	役職	氏名
岩手県	岩手県	知事	達増 拓也
森林所有者	岩手県森林組合連合会	代表理事会長	中崎 和久
林業事業者	ノースジャパン素材流通協同組合	理事長	鈴木 信哉
木材産業事業者	岩手県木材産業協同組合	理事長	日當 和孝
建築関係事業者	一社) 岩手県建築士事務所協会	会長	佐々木 章
	一社) 岩手県建設産業団体連合会	会長	向井田 岳
県民等	岩手県商工会議所連合会	会長	谷村 邦久
	岩手県商工会連合会	会長	高橋 富一
	一社) 岩手経済同友会	代表幹事	高橋 真裕
	岩手県消費者団体連絡協議会	会長	川村 元
国	林野庁東北森林管理局盛岡森林管理署	署長	宮沢 一正
市町村	岩手県市長会	会長	谷藤 裕明
	岩手県町村会	会長	山本 賢一
大学	国立大学法人岩手大学農学部	教授	関野 登
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	准教授	泉 桂子

## 2 協議会の開催等について

協議会の開催は年1回とし、県産木材等の利用推進に向けた取組に関する情報の共有や、県産木材の利用に関する意見交換等を行う。

### (1) 第1回協議会の開催

基本計画の着実な実行に向けて、県、市町村、森林所有者、林業事業者、木材産業事業者、建築関係事業者及び県民等が相互に協力することができる体制の整備を図るため、知事の出席のもと、第1回目の協議会を以下により開催した。

なお、協議会において、県民等に広く県産木材の利用を周知していくため「いわて木づかい宣言」を採択したほか、今後、木材利用の推進におけるイベントなどにおいて利用していく「キャッチフレーズ」を定めた。

ア 日 時：令和2年9月16日（水）10時45分から12時まで

イ 場 所：エスポワールいわて 大ホール

ウ 協議事項等：① 副会長の指名について  
② 行動計画に係る取組状況等について  
③ 令和2年度の木材利用推進月間の取組内容について  
④ いわて木づかい宣言

【キャッチフレーズ】 木で感じる ほっといわて  
— 使いましょう。いわての木を。 —



協議会の様子



いわて木づかい宣言文の読み上げ

### (2) 成果の公表

ア 条例第19条に「知事は、毎年度、県産木材等の利用の促進に関する施策の実施状況を公表するものとする」と規定されている。

イ 実施状況は、県産木材等の利用に係る施策や指標の達成状況について、素材生産量など行動計画に掲げる指標ごとにとりまとめ、11月6日に県ホームページで公表した。

## いわて木づかい宣言

県土の8割を占める本県の森林は、県の木であるナンブアカマツをはじめ、スギやカラマツ等の針葉樹のほか、木炭やしいたけ原木などにも利用されるナラ等の広葉樹といった多様な樹種で構成されています。

本県の森林資源を有効利用していくことは、「植える、育てる、使う、植える」という森林資源の循環を産み出し、適切な森林整備を通じて、地球温暖化の防止及び循環型社会の形成に大きく貢献するものです。

この森林資源の重要性を認識するとともに、森林がもたらす多くの恩恵をよりよい形で次の世代に引き継ぐため、行政、森林所有者、関係事業者、関係団体、県民等が協働し、一体となって、県産木材等の幅広い利用を積極的に進めることを決意し、ここに宣言します。

- 一 私たちは、木材利用を進め、木材利用意識の高揚や自発的な取組による豊かな暮らしと、環境への負荷を低減した快適な生活環境を目指します。
- 一 私たちは、豊かな森林資源を次の世代に継承するとともに、持続可能な森林経営・林業経営を実現します。
- 一 私たちは、県産木材の価値の向上を実現し、森林所有者及び木材の生産から利用に至る関係事業者の経営の充実を図ります。



令和2年9月16日

いわて県産木材等利用推進協議会会長

岩手県知事

達増拓也

### 3 その他（いわて県産木材等利用推進フォーラムの開催）

#### 1 開催の目的等

県では、県民の皆様に県産木材への理解を深めていただくため、「岩手県県産木材等利用促進行動計画」に位置づけている「木材利用推進月間」の取組として、岩手県木材産業協同組合との共催により「いわて県産木材等利用推進フォーラム」を開催したものを。

#### 2 フォーラムの概要

今回は、木材利用促進をテーマとした第1部、例年実施している木質バイオマスエネルギーフォーラムを第2部の構成として開催したほか、岩手県木材産業協同組合が主催する「いわて木製品等展示会」も同施設展示ホールで併せて実施。

開催日：令和2年10月13日

開催場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ） 小田島組☆ほ〜る

#### 木材利用推進フォーラム及び木質バイオマスエネルギーフォーラム

第1部 ●基調講演「これからの住宅業界～東北の豊かな森林資源を活かすために～」

秋田県立大学木材高度加工研究所 教授 中村 昇 氏

● 木材利用推進に係る座談会 座長 盛岡森林管理署長 宮沢 一正 氏

第2部 ●基調講演「地産地消木質バイオマス発電 ～持続可能な発電所構築に向けて～」

株式会社大仙バイオマスエナジー 代表取締役 金井 義博 氏

● 木質バイオマス利用促進に係るパネルディスカッション

座長 岩手大学農学部 准教授 伊藤 幸男



基調講演（木材利用推進）



パネルディスカッション  
（木質バイオマス）



会場の様子

#### いわて木製品等展示会 出展者：12者

会場では、アカマツやカラマツ、スギなどの県産JAS製材品が展示されたほか、各出展者ブースでフローリングや天井などの内装材、テーブルやイス、棚などの家具、レーザー加工された木の賞状、木製車椅子などの木工品を展示



県内で製造されたJAS製材品や木製家具等の展示の状況